

- よく考え進んで学ぶ子
- 明るく心の豊かな子
- じょうぶでたくましい子



一 誠



ホームページQRコード

令和4年4月11日

一人一人の子供たちの幸せのために～自立と共生～

校長 鈴木晋作

春の日差しは、心も体も軽やかにしてくれるような気がします。校長の鈴木晋作です。本校3年目の勤務をさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、開校150周年にあたる令和4年度が始まりました。お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。新型コロナウイルスの影響を受け、世界中が今も尚、厳しい状況におかれています。そんな中、始業式や入学式を迎えたお子様や保護者の皆様は、期待感とそれ以上に大きな不安感が入り混じった状況ではないかとお推察申し上げます。

私たち高静小学校全43名の教職員は、基本理念「一人一人の子供たちの幸せのために～自立と共生～」をもとに、全校児童505名のために全力で教育活動にあたる所存です。子供の教育に携わる学校・家庭・地域が共通の認識に立ち、子供の指導・助言・支援に当たることができるようご理解とご協力をお願いいたします。

始業式や着任式は、新型コロナウイルス対策のため、校内wifiを使い各教室において参加する形で行いました。私は、カメラに向かい、子供たちの顔を思い浮かべながら話をしました。以下、始業式の中で私が子供たちに話したことをご紹介いたします。



おはようございます。そして、進級おめでとうございます。みなさんが元気で始業式を迎えることができ、とてもうれしく思っています。今日は学校のお正月です。1年の中でとても大切な日、出発の日です。まわりの友達みんなに「今年1年間、よろしく願いします」という気持ちを大切にもってほしいと思います。

さて、1年間の出発に当たり、みなさんに二つお話をします。去年も同じ話をしました。大切なことだと思しますので、もう一度お話をします。

一つ目は「失敗や間違いは宝物」というお話です。

むかし、エジソンという人がいました。ちびまるこちゃんの歌にも出てきますね。エジソンはたくさんの方明をしました。その中で、電球（電気で光るランプ）を發明するのになんと1万回も失敗をしたのだそうです。そのことについてエジソンはこんなふうに言っています。「私は、1万回失敗したとは思っていない。1万のうまくいかない方法を見つけたのだ。」エジソンにとって、失敗は宝物だったのです。みなさんも、失敗すること、うまくいかないことがあると思います。そんなときは、もう一度やりなおせばいいのですよ。どうしてもわからないときは、まわりの人に「わからないから教えて？これどうするの？」と聞けばいいのですよ。人間はまちがって、失敗して、やりなおして成長していきます。大切なことは間違ったまま、失敗したままにしないこと。校長先生も、いままでに数えきれないぐらいたくさんの間違いや失敗をして、たくさんたくさんやり直しをしてきました。今でもそうです。みなさんにとって「失敗や間違いは宝物」なのです。

二つ目は「みんなちがって、みんないい」というお話です。みなさんは、一人一人顔も声も体も違いますね。そして考え方もちがいますね。みんなちがっているのが当たり前ですね。もし、クラスみんなが同じ顔で、同じ体で、同じ考え方だったらどうでしょう。それはロボットのようなかもしれせん。ちょっと怖いすよね。人間は、一人一人みんなちがっています。そして、みんなちがっていることがすばらしいのです。楽しいのです。おもしろいのです。元気な子、おとなしい子、大きな子、小さな子、運動が好きな子、勉強が好きな子、本を読むのが好きな子、おもしろい子、

はずかしがりやの子。おっちょこちょいな子、まじめな子、あの子もいい。この子もいい。もちろん自分もいいのです。「みんなちがって、みんないい」のです。ですから、自分と考えが違うからといって仲間はずれにしたり、ちょっと気に入らないから悪口を言ったりすることは、とても悲しいことです。新しい学校生活が始まります。自分の考えや気持ちを大切に、お友達の考えや気持ちも大切にしてください。高静小学校505人みんなのちがいが集まれば、とてつもなく大きな力になりますよ。

校長先生から二つお話をしました。「失敗や間違いは宝物」と「みんなちがって、みんないい」です。以上で校長先生のお話を終わります。

入学おめでとうございます 87名の1年生

